

(記載例8)

事件番号 佐労委平成〇年(不)第〇号

事件名 〇〇〇不当労働行為事件

平成〇年〇月〇日

佐賀県労働委員会

会長 〇〇 〇〇 様

申請人

〇〇〇労働組合

執行委員長 〇〇 〇〇 印

(申立人申請の場合)

〇〇株式会社

代表取締役社長 〇〇 印

(被申立人申請の場合)

(署名又は記名押印)

### 証 拠 説 明 書

標記事件の書証 ( 甲第1号証 ~ 甲第3号証 ) について、別紙立証の趣旨を説明します。

疎明番号	標題	作成者	立証趣旨
甲・乙 第1号証	団体交渉申入書	〇〇労働組合	平成〇年〇月〇日に〇〇執行委員長が、〇〇総務部長に手交した団体交渉申入書であって、これをもって団交申入れの事実を立証する。
甲・乙 第2号証	解雇通知書	〇〇株式会社	〇〇に対する平成〇年〇月〇日付け解雇通知書及び内容証明書による処分理由書。これをもって解雇されたことの立証をする。
甲・乙 第3号証	手紙	〇〇株式会社	〇月〇日、会社から従業員宅へ組合へ加入しないようにとの趣旨の手紙が郵送された事実を立証する。
甲・乙 第 号証			
甲・乙 第 号証	(上記内容は組合からの申請を前提に記載しています。)		

→ 甲号証の場合は甲を、乙号証の場合は乙を〇で囲んでください。

(注) 甲・乙のいずれかに、〇印を付けてください。

申立人提出の書類には「甲第〇号証」、被申立人提出の書類には「乙第〇号証」という一連番号を付けてください。